

第2章 水道事業の現状と将来見通し

1 水道事業*の現状

(1) 給水状況

過去 10 年間の中井町の給水人口*は、緩やかな減少傾向にあります。一方で、1 日最大給水量*は平成 25 年度以降ほぼ横ばいとなっています。

表 2-1 給水人口*の実績 (人)

年度 項目		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
給水人口*		10,193	10,126	10,054	9,872	9,937	9,836	9,772	9,738	9,635	9,578
前年度比		-	▲ 67	▲ 72	▲ 182	65	▲ 101	▲ 64	▲ 34	▲ 103	▲ 57
給水量 (m ³ /日)	1 日 平均*	5,790	5,709	5,579	5,472	5,886	6,177	6,416	6,304	6,160	6,153
	1 日 最大*	7,968	7,444	7,005	7,069	7,736	7,910	8,219	7,929	7,779	7,927

各年度 3 月 31 日現在

(2) 施設状況

現在の中井町の施設状況は次のとおりです。

表 2-2 現在の施設

施設		数量	備考
施設数	取水施設*	9 箇所	予備水源（半分形水源）含む
	送水施設*	5 箇所	休止 1 箇所含む
	配水施設*	9 箇所	
	応急給水*拠点	5 箇所	非常用飲料水貯水槽 2 箇所含む
管路延長		108,946 m	

(3) 料金体系

現在の中井町の料金体系は次のとおりです。

表 2-3 現在の料金体系

項目	現行	摘要
算定手法	総括原価方式	(損益収支方式)
料金体系	用途別	家事用、業務用、一時用、特殊用
料金区分	二部料金制	基本料金＋従量料金
従量料金	逦増制	
基本水量*	10m ³	

(4) 組織体制

現在の中井町環境上下水道課の水道担当職員は、業務班、工務班を合わせて4名です。

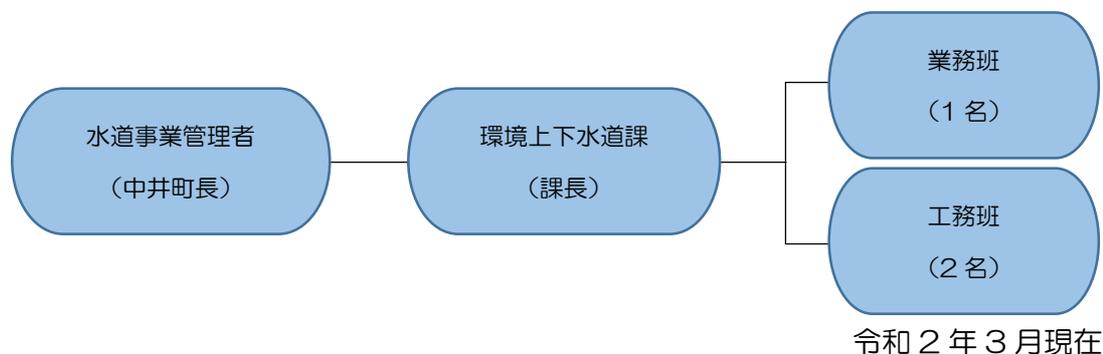


図 2-1 組織体系図

(5) 前回ビジョンの取り組み

これまでの中井町の前回ビジョンの取り組み状況は次のとおりです。

表 2-4 水道ビジョンの取り組み状況

基本方針	基本目標	事業計画	取り組み状況
安心	安心・安全な水道の供給	水質監視の強化	実施中
安定	施設の更新と耐震化	施設の耐震化	実施中
		老朽化施設の更新	実施中
	施設規模の適正化と効率化	施設規模の適正化と効率化	検討中
	危機管理体制の強化	バックアップ機能の強化	実施中
応急給水*体制の強化		検討中	
持続	経営基盤の強化	経営の効率化	実施中
		適正料金水準の検討	検討中
		利用者へのサービス向上	実施中
	運営基盤の強化	遠方監視システム導入	検討中
		技術の継承と人材の育成	実施中
環境	環境にやさしい事業運営	省エネ機器の導入	検討中
		有効率の維持	検討中

令和2年3月現在

(6) 経営状況

経営比較分析表による現状分析と経営成績は次のとおりです。中井町では水源*や地形の状況から、地下水の汲み上げや配水池*への送水でポンプが必要となるため、その分の電力使用料である動力費が掛かります。

表 2-5 経営比較分析表による現状

主な経営指標		H26	H27	H28	H29	H30	算出式	指標の説明
								中井町の分析
経常収支比率* (%)	中井町	132.26	141.25	152.51	153.47	148.53	経常収益	当該年度において給水収益等の収益で維持管理費等の費用をどの程度賄えているかを表す指標 経常収支比率*は100%以上を維持しており、健全な事業運営を行っています。
	類似団体* 平均値 (全国)	107.20	106.62	107.95	104.47	103.81	経常費用	
施設利用率 (%)	中井町	66.42	68.99	67.79	66.24	66.16	一日平均配水量	配水能力に対する平均配水量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標 類似団体*平均値を上回っており、他団体と比較して施設の効率的な運用を図っています。
	類似団体* 平均値 (全国)	49.22	49.08	49.32	50.24	50.29	一日配水能力	
管路経年化率 (%)	中井町	2.83	3.00	3.65	4.33	5.21	法定耐用年数*を 経過した管路の延長	法定耐用年数*を超えた管路延長の割合を表す指標で、管路の老朽化度合いを示す 類似団体*平均値を下回っており、他団体と比較して管路が新しいことが読み取れますが、今後は老朽化が進むため計画的な更新が必要です。
	類似団体* 平均値 (全国)	9.86	11.16	12.43	13.58	14.13	管路延長	

表 2-6 経営成績 (純損益の状況・H25~H30 決算)

(千円)

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30
収 益 (A)	291,498	363,622	368,813	366,812	363,057	372,968
費 用 (B)	194,247	276,813	261,154	240,551	236,595	251,188
純利益(A-B)	97,251	86,809	107,659	126,261	126,462	121,780

2 将来環境の見通し

(1) 給水人口*の予測

計画給水人口*は、中井町人口ビジョンにおける目標人口の推計から、平成30年度実績に対して計画目標年度の令和11年度までの11年間で700人程度の減少を見込んでいます。

表 2-7 給水人口の予測

	認可（平成21年度）	実績（平成30年度）	計画（令和11年度）
給水人口*	11,100人	9,578人	8,927人
1日最大給水量*	9,300 m ³ /日	7,927 m ³ /日	7,574 m ³ /日

(2) 水需要の予測

家事用の水需要は、給水人口*に伴って減少することが予測されます。また、業務用の水需要は、新規利用者の増加による緩やかな増加傾向を予測しています。全体的な水需要としては、本ビジョン*期間内において緩やかな減少傾向となることが予測されます。

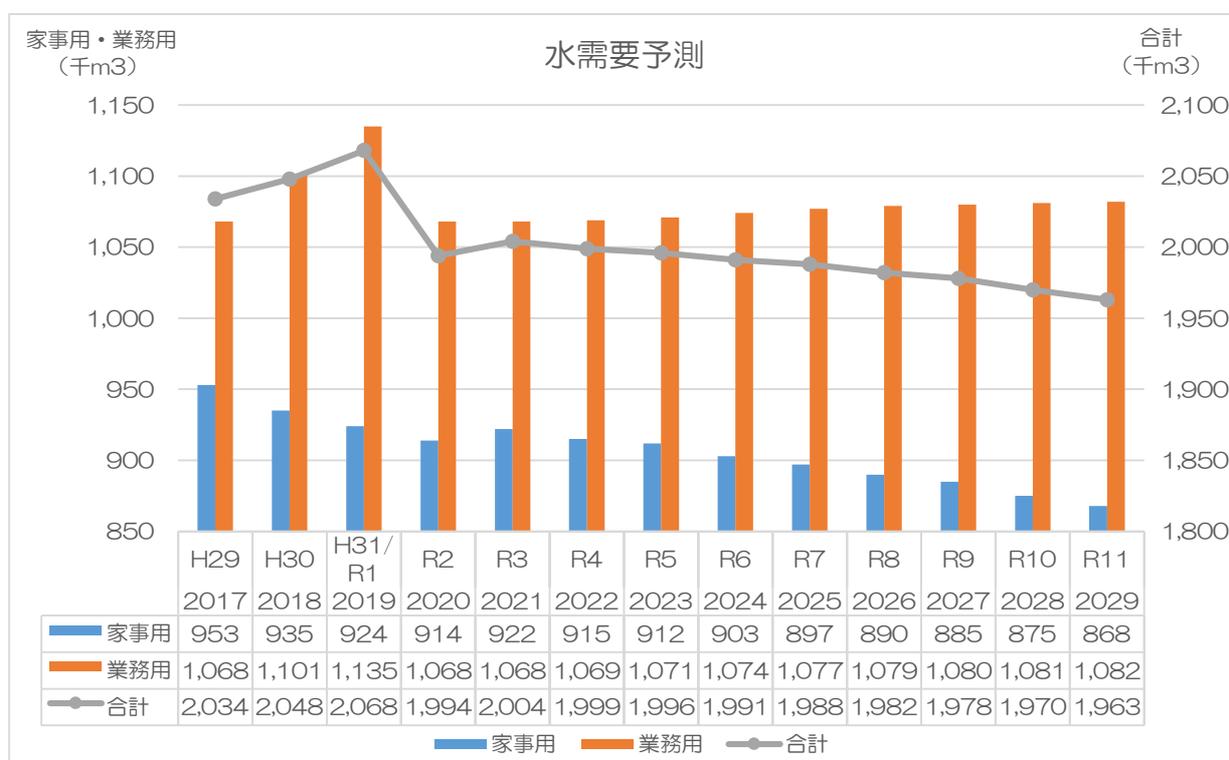


図 2-2 水需要予測

(3) 水道料金収入の見通し

水道料金収入は、水需要予測に基づいて算定しています。家事用の料金収入は人口減少が影響する一方、業務用の料金収入は増加する想定をしています。水道料金収入全体としては、大きな増減はないと予測されます。

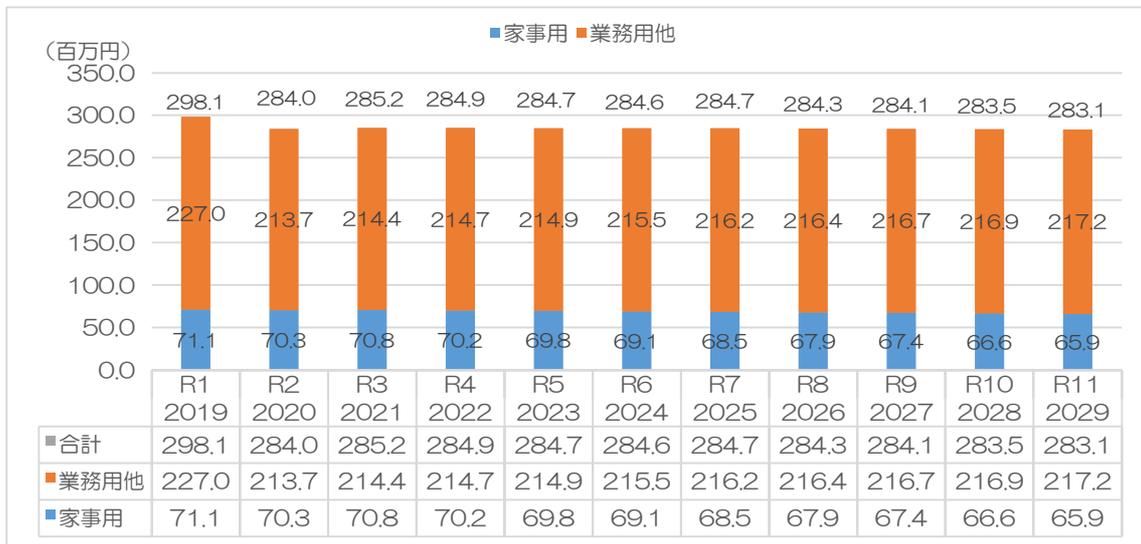


図 2-3 水道料金収入の見通し

(4) 組織の見通し

現在、水道事業*職員は計4名となっています。効率的な運営が可能ですが、災害時の対応力や今後の老朽化対策、維持管理、人材育成等の面においても適正な職員体制を確保していく必要があります。

表 2-8 水道事業*職員数の推移 (人)

年度	H10	H11~H16	H17~H22	H23	H24~H28	H29	H30	H31
事務職	4	3	2	2	1	1	1	2
技術職	3	3	3	2	2	2	3	2
合計	7	6	5	4	3	3	4	4

各年度4月1日現在

(5) 中井町の将来像について

今後は50年先、100年先の中井町の水道を見据え、水質監視を継続し、安心・安全で良質な水道水を供給するとともに、施設の耐震化を進めて災害等に強い水道システムの構築を図っていきます。また人口及び給水人口*の減少が予想されるため、中井町に適した料金体系を検討し、持続可能な経営基盤を確立していく一方で、民間委託*や広域連携等により運営基盤を強化していくことを目標に取り組んでいきます。